



実施報告書 【概要版】

令和5年12月
THE TAIWAN KYUSHU 実行委員会

目次

1. 実施概要
2. 参加者情報
3. 講演会の実施状況
4. 11月15日(水)
令和5年度 地域間交流懇談会in鹿児島 プログラム
5. 11月16日(木)
The TAIWAN Matching Hub in Satsumasendai プログラム
6. 11月17日(金)
The TAIWAN Matching Hub in Satsumasendai プログラム
7. 薩摩川内宣言
8. 展示商談ブース
9. 共催団体のご紹介
10. 協賛者のご紹介

1. 実施概要

- (1) 名称 九州・台湾クリエイティブウイーク in 薩摩川内
(Taiwan Kyushu Innovation & Technology Conference)
- (2) 開催日程 令和5年11月15日(水)～11月17日(金) 3日間
- (3) 開催時間
- ・15日(水) 13:00～17:50 主管：九州経済フォーラム
 - ・16日(木) 09:00～17:15 主管：THE TAIWAN KYUSHU実行委員会
 - ・17日(金) 09:00～17:10 主管：THE TAIWAN KYUSHU実行委員会
- (4) 開催場所 薩摩川内市 川内駅コンベンションセンター SSプラザせんだい
多目的ホール(講演会)、301・302・303会議室(展示商談ブース)、304会議室(お茶席)
- (5) 開催内容 日本、台湾、アメリカの産官学金の多様なキーパーソンが、薩摩川内市に一堂に会し、
経済交流の促進や循環経済都市の実現に向けた気運醸成を図る機会として、
3日間の日程で開催
- (6) 開催目的
- ・九州と台湾の経済交流促進
 - ・経済人材のネットワーク確立
 - ・鹿児島県、薩摩川内市の経済発展ビジョンの共有
 - ・2030年SDGs達成、2050年カーボンニュートラル達成のための
循環経済都市(サーキュラー都市)実現
- (7) 主催 THE TAIWAN KYUSHU実行委員会
(スタンフォード大学創薬医療機器開発研究所、鹿児島銀行、薩摩川内市)
- (8) 共催 九州経済フォーラム、
Asia-Pacific Association for Academic and Industrial Cooperation (APAAIC)、
Industrial Technology Investment Corporation (ITIC)
- (9) 協賛 APAMAN株式会社、Sozo Ventures、AIRI Capital, LLC、医療法人社団やまと、
iMU株式会社、山根 大氏
- (10) 後援 鹿児島県、鹿児島経済同友会、川内商工会議所、薩摩川内市商工会、
事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会、薩摩川内市観光物産協会、
薩摩川内市貿易振興協会、川内青年会議所、IoTデザイン鹿児島、玉山銀行、
MBC南日本放送、NHK鹿児島放送局、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、
KYT鹿児島読売テレビ、南日本新聞社
- (11) 協力 台湾工業技術研究院 (ITRI)、台湾セミコンダクタマニュファクチャリング (TSMC)、
公益財団法人全日本科学技術協会 (JAREC)、国立台湾大学、鹿児島大学、
早稲田大学、慶応義塾大学、鹿児島純心大学、サーキュラーパーク九州株式会社



2. 参加者情報

(1) 参加費

ア 現地参加費

日付	参加条件	金額
11月15日（水）	薩摩川内市外にお住いの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	5,000円 （税込）
	薩摩川内市内にお住いの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	無料
11月16日（木）	薩摩川内市外にお住いの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	2,000円 （税込）
	薩摩川内市内にお住いの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	無料
11月17日（金）	薩摩川内市外にお住いの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	2,000円 （税込）
	薩摩川内市内にお住いの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	無料

イ Zoom参加費

日付	参加条件	金額
11月15日（水）～ 11月17日（金）	薩摩川内市外にお住まいの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	2,000円 （税込）
11月15日（水）～ 11月17日（金）	薩摩川内市外にお住まいの個人の方、 もしくは、本社・営業所がある法人の方	無料

(2) 参加者数

項目	11月15日(水)	11月16日(木)	11月17日(金)	計
現地参加者数 (内、市外参加者数)	139名 (93名)	241名 (66名)	160名 (46名)	540名
Zoom参加者数	53名	72名	50名	175名
計	192名	313名	210名	715名

(3) 延べ登壇者数 81名

3. 講演会の実施状況

(1) 11月15日(水) 令和5年度 地域間交流懇談会 in 鹿児島

開会では、九州経済フォーラムの石原会長、薩摩川内市の田中市長、九州経済連合会の倉富会長、Sozo Ventures のPhil Wickhamシニア・マネージング・ディレクターらによる挨拶が行われました。

その後、鹿児島県塩田知事から、「鹿児島県ビジョン発信」と題する講演や、鹿児島大学 佐野学長、国立台湾大学 Chen-en Ko名誉教授らによる戦略的人材育成に関する講演、議論が行われました。工業技術研究院(ITRI) のPei-Zen Chang上級副社長による基調講演では、TSMCを生み出したITRIの歴史や、産業活性化のための技術革新の重要性に焦点が当てられました。また、鹿児島にゆかりのある起業家らによる「鹿児島のポテンシャルとこれから」と題した講演、パネルディスカッションも行われました。最後に、APAMAN株式会社の大村代表取締役社長から、「終わりなき企業経営と学び」についての基調講演が行われました。参加者はグローバル人材の育成や、鹿児島を含めた地域活性化、新たな挑戦のための失敗を恐れないマインドセットに関する登壇者の経験や、日本、台湾、アメリカの文化の違いなどに関する話題に耳を傾ける様子が見られました。

(2) 11月16日(木) The TAIWAN Matching Hub in Satsumasendai

オープニングでは、スタンフォード大学SLDDDRS 西村所長、国立台湾大学 Chen-en Ko名誉教授、薩摩川内市 田中市長、台北駐福岡経済文化弁事処 Bruce Chen総領事、熊本県 木村副知事、TSMC Lora Ho上級副社長、APAMAN株式会社 大村代表取締役社長（代読）、福岡県中小企業経営者協会連合会 小林会長、Sozo Ventures 中村シニア・マネージング・ディレクター、AIRI Capital, LLCのPavan Ongole氏による挨拶が行われました。

その後、日本、台湾の様々な分野のキーパーソンが登壇され、「サーキュラー都市ビジョン」、「教育における目標達成指標 (KGI)」、「高齢化と認知症」、「先端科学技術」のセッションが開かれました。これらの中では、持続可能な社会づくりに向けた将来ビジョンや、最先端の取組事例紹介、現状の課題に対する議論などが展開されました。ノーベル物理学賞受賞者である名古屋大学 天野教授からは、カーボンニュートラルに繋がる最先端の半導体技術に関する講演が行われました。また、TSMC Lora Ho上級副社長が登壇され、「TSMCのビジネス戦略とテクノロジーの進歩」について基調講演が行われました。その中では、TSMCの歴史や技術的な強み、ESGの取組、求める人材に関する考え方などが紹介され、参加者が熱心に聴講される様子が見られました。

(3) 11月17日(金) The TAIWAN Matching Hub in Satsumasendai

最終日の17日は、「中小企業」、「ベンチャーキャピタル金融支援とESG」、「グローバルベンチャーキャピタルの戦略」、「台湾から九州へ」、「サーキュラー都市 薩摩川内市から台湾へ」の5つのセッションが開かれ、多角的な視点から議論が行われました。これらの中では、中小企業を含む経済界や学术界、投資業界における日本、台湾、アメリカの最先端の取組事例や、文化の違い、強みや弱みに関する議論が行われ、相互連携の有益性、機会創出に関する議論が行われました。また、サーキュラー都市やESGに関する具体的な取組の紹介や将来構想について共有が行われました。

3日間の締めくくりとして、実行委員会を代表して薩摩川内市 田中市長より「薩摩川内宣言」が行われ、九州と台湾の連携を継続していくことや、持続可能でより良い未来の実現に向けて飛躍すべく、成長志向で行動し続けることを宣言しました。また、鹿児島県 塩田知事、九州経済フォーラム 石原会長ら4名が、宣言の支援者として署名を行いました。

(4) 講演会場の状況



4. 11月15日(水) 令和5年度 地域間交流懇談会in鹿児島 プログラム

時間	項目・テーマ	登壇者	
(1)	13:00	開会	
(2)	13:05	主催者挨拶	九州経済フォーラム 会長 石原 進
(3)	13:10	開催地挨拶	薩摩川内市 市長 田中 良二
(4)	13:15	来賓挨拶	九州経済連合会 会長 倉富 純男
(5)	13:20	来賓挨拶	Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター Phil Wickham
(6)	13:25	鹿児島県知事 講演 「鹿児島県ビジョン発信」	鹿児島県 知事 塩田 康一
(7)	14:00	スピーチ&パネルトーク 「戦略的人材育成について」	「地域における大学の使命」 鹿児島大学 学長 佐野 輝 「戦略的人材育成について」 京都府立大学 学長 塚本 康浩 「現在のビジネス環境における戦略的人材管理」 国立台湾大学 名誉教授 Chen-en Ko 「世界レベルの出口志向の人材教育」 公益財団法人実験動物中央研究所 理事長 野村 龍太 スタンフォード大学 SLDDRS所長 西村 俊彦 <モデレータ>
(8)	15:30	キーノートスピーチ 「ITRI's Innovated R&D and Commercialization Ecosystem」	工業技術研究院 (ITRI) 上級副社長 Pei-Zen Chang
(9)	16:00	パネルトーク 「鹿児島のポテンシャルとこれから」	株式会社グランドビジョン 代表取締役 中尾 賢一郎 株式会社ecommit 代表取締役CEO 川野 輝之 合同会社hataori 代表 たかはし くうが Letheany&Co. 合同会社 代表 小川 夏果 九州経済フォーラム 常任理事 古賀 正博 <モデレータ>
(10)	17:20	キーノートスピーチ 「終わりになき企業経営と学び」	APAMAN株式会社 代表取締役社長 大村 浩次
(11)	17:50	閉会	九州経済フォーラム 副会長 龍造寺 健介

5. 11月16日(木) The TAIWAN Matching Hub in Satsumasendai プログラム

時間	項目・テーマ	登壇者	
(1)	09:00 オープニング	スタンフォード大学 SLDDDRS所長 国立台湾大学 名誉教授 薩摩川内市 市長 台北駐福岡経済文化弁事処 総領事 熊本県 副知事 TSMC 上級副社長 APAMAN株式会社 代表取締役社長 福岡県中小企業経営者協会連合会 会長 Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター AIRI Capital, LLC	西村 俊彦 Chen-en Ko 田中 良二 Bruce Chen 木村 敬 Lora Ho 大村 浩次 小林 専司 中村 幸一郎 Pavan Ongole
(2)	10:07 スピーチ&パネルトーク 「サーキュラー都市ビジョン」	「サーキュラー都市の実現を目指して ～SDGs未来都市薩摩川内の挑戦シナリオ～」 薩摩川内市 市長 「サーキュラーパーク九州について」 サークュラーパーク九州株式会社 代表取締役 「海洋プラスチックごみリサイクルによる マイクロプラスチックの削減」 鹿児島大学南九州・南西諸島域イノベーションセンター長 薩摩川内市 未来政策部 部長 ITIC 投資マネージャー	田中 良二 春木 優 藤枝 繁 古川 英利 Joyce Cheng
(3)	11:10 基調講演 「革新的なビジネス戦略と テクノロジーの進歩」 ＜モデレータ＞	TSMC 上級副社長 国立台湾大学 名誉教授 スタンフォード大学 SLDDDRS所長	Lora Ho Chen-en Ko 西村 俊彦
(4)	13:30 スピーチ&パネルトーク 「教育における目標達成指標 (KGI)」 ＜モデレータ＞	「明治維新と産業革命の推進力は”薩摩の教育”にあった」 志學館大学 教授 「未来の学びへの新たなパラダイムシフト PaGamO eスポーツ+教育」 国立台湾大学 副学部長 国立台湾大学 名誉教授 スタンフォード大学 SLDDDRS所長	原口 泉 Yeh, Ping-Cheng Chen-en Ko 西村 俊彦
(5)	14:33 スピーチ&パネルトーク 「高齢化と認知症」 ＜モデレータ＞	「在宅医療における認知症診療の実際」 医療法人すずらん会 たろうクリニック 院長 「XRゲームの認知症予防への展開」 神奈川工科大学 准教授 「超シンプル脳波計による心と病気の可視化」 慶応義塾大学 教授 「認知症フレンドリーシティ・プロジェクトについて」 福岡市 高齢社会部 認知症支援課 課長 スタンフォード大学 SLDDDRS所長 中国医科大学病院 Director 株式会社エクサウィザーズ マネージング・ディレクター	内田 直樹 鈴木 浩 満倉 靖恵 笠井 浩一 西村 俊彦 Kai-Cheng Hsu 市嶋 洋平
(6)	15:40 スピーチ&パネルトーク 「先端科学技術」 ＜モデレータ＞	「未来の脱炭素社会実現に貢献するWBGエレクトロニクスの構築」 名古屋大学 教授 「より良い未来への革新」 工業技術研究院 (ITRI) 上級副社長 「サーキュラーエコノミーを実現する先端リソーシング技術」 早稲田大学 教授 慶応義塾大学 教授 国立台湾大学 名誉教授	天野 浩 Pei-Zen Chang 所 千晴 満倉 靖恵 Chen-en Ko

6. 11月17日(金) The TAIWAN Matching Hub in Satsumasendai プログラム

時間	項目・テーマ	登壇者	
(1)	09:00 スピーチ&パネルトーク 「中小企業」	「中小企業連携の例」 Maystar Reflex Technology CO.,LTD. General manager 「世界の膝痛を救う」 iMU株式会社 代表取締役 「中小企業のための挑戦と機会」 Everstream Partners Senior Manager 「事業継承問題を解決する簡易デューデリジェンスサービス」 有限会社プロッシモ 代表取締役 SPRINK株式会社 代表取締役	Ben Chang 名倉 武雄 Susan Ko (兼モデレータ) 堀内 昭彦 元 美和
		<モデレータ>	
(2)	10:05 スピーチ&パネルトーク 「ベンチャーキャピタル金融支援とESG」	「特色あるE.SUN銀行のビジネス実績について」 E.SUN Financial Holding Co.,Ltd CSO 「地方銀行としてのベンチャー・ESG投融資」 株式会社鹿児島銀行 地域支援部 部長 「ITICのご紹介」 ITIC 投資マネージャー 「女性のための持続可能なエンパワーメント」 Qisda 社外取締役 「米国、インド、日本に投資するエンジェルファンド」 AIRI Capital,LLC SPRINK株式会社 代表取締役	Louis L. Y. Chang 小笹 康浩 Joyce Cheng Mandy Huang Pavan Ongole 元 美和
		<モデレータ>	
(3)	11:07 スピーチ&パネルトーク 「グローバルベンチャーキャピタルの戦略」	「スタートアップ・エコシステムの形成」 立命館アジア太平洋大学 教授 「グローバルに展開するスタートアップ創出のために」 FFGベンチャービジネスパートナーズ 取締役副社長 「循環：縮小し高齢化する世界での繁栄への挑戦」 医療法人社団やまと 理事長 ITIC 投資マネージャー Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター 株式会社エクサウィザーズ マネージング・ディレクター	藤田 正典 山口 泰久 田上 佑輔 Joyce Cheng 中村 幸一郎 市嶋 洋平
		<モデレータ>	
(4)	13:50 スピーチ&パネルトーク 「台湾から九州へ」	「台湾と九州の産業連携における機会と挑戦」 国立台湾大学 名誉教授 「スマートホスピタルとメディカルAI」 中国医科大学病院 Director 「最先端技術研究と産学連携における日台協力の新たな機会と挑戦」 国立陽明交通大学 (NYCU) 教授 ITIC 投資マネージャー	Chen-en Ko Kai-Cheng Hsu Jeff Chen Joyce Cheng
		<モデレータ>	
(5)	14:55 スピーチ&パネルトーク 「サーキュラー都市 薩摩川内市から台湾へ」	「新たな産業拠点の形成に向けて 川崎キングスカイフロント歴史と教訓」 キングスカイフロントネットワーク協議会 会長 公益財団法人実験動物中央研究所 理事長 「成長志向型の資源自律経済戦略について ～経済産業省の資源循環施策～」 経済産業省九州経済産業局 環境・資源循環経済課 課長 「企業連携による資源循環ビジネス」 サーキュラーパーク九州株式会社 代表取締役 「循環型社会に向けた使用済みプラ製品回収取り組み」 花王株式会社 事業ESG推進部 部長 「あらゆるものを情報化して、社会のうごきを最適化する「タギング」について」 サトーホールディングス株式会社代表取締役 薩摩川内市 未来政策部 部長	野村 龍太 (*兼モデレータ) 森 禎久 中台 澄之 松本 彰 小沼 宏行 古川 英利

(6) 16:40 薩摩川内宣言

薩摩川内市 市長
 スタンフォード大学 SLDDDRS所長
 国立台湾大学 名誉教授
 株式会社鹿児島銀行 常務執行役員
 鹿児島県 知事
 九州経済フォーラム 会長
 Sozo Ventures シニア・マネージング・ディレクター
 AIRI Capital, LLC

田中 良二
 西村 俊彦
 Chen-en Ko
 坂之上 久之
 塩田 康一
 石原 進
 中村 幸一郎
 Pavan Ongole

7. 薩摩川内宣言

(1) 薩摩川内宣言の内容、及び支援者の署名

『薩摩川内宣言』

九州・台湾クリエイティブウイーク
 2050年に向けた経済社会人材の成長志向型行動宣言

世界の平均気温は、工業化前と比べて2011年から2020年の期間で1.09℃上昇するなど、温暖化が進み、地球沸騰時代とも言われている。加えて、2050年までに海洋中のプラスチックごみが魚の重量を上回ると予測されるなど、環境問題も深刻化している。

国際連合は2015年に、持続可能な世界を実現するための開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）を掲げた。世界各国は、環境・社会・経済の好循環を生み出し、持続可能な社会を実現することによる、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）を超えない活動の維持とWell-Being（人間の幸福）の実現の同時達成、2050年までに脱炭素社会の実現も目指そうとしている。

一方、我が国では、少子化による急速な人口減少、経済規模の縮小が予測され、地方においては更なる弱体化が懸念されている。これに対して、薩摩川内市は、薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言の発出（2021年6月）、国（内閣府）によるSDGs未来都市の選定（2022年5月）を経て、現在、サーキュラーエコノミー（循環経済）により、幸せを感じる経済社会を創出しようと挑戦している。

これから、世界各国や日本は、グローバルな経済社会の変化を踏まえつつ、素晴らしい未来を創る必要がある。そして、薩摩川内市ではサーキュラー都市を実現する必要がある。そのためには数多くの課題を克服しなければならないが、その源泉となるのは我々のチャレンジ精神（スピリッツ）である。わが放線には「泣こかい、飛ばかい、泣こよかひつ飛ば」という教えがある。これは、困難に出会った時はあれこれ考えず、とにかく行動しなさいという意味である。

今回の九州・台湾クリエイティブウイークにおいて、我々は、

- 1 九州・台湾の産官学金など各層別連携の必要性と意義
- 2 九州・台湾の各層別連携は相補的であること
- 3 九州・台湾の連携を継続することの重要性

を確認した。このようにして経済人材のネットワークの確立とグローバル人材の育成のヒントを得ることができた。これを契機として、薩摩川内市は、「持続可能でより良い未来の実現に向けて飛躍すべく、成長志向で行動し続けること」をここに宣言する。

2023年11月17日

九州・台湾クリエイティブウイーク

THE TAIWAN KYUSHU 実行委員会

西村 俊彦（スタンフォード大学）

田中 良二（薩摩川内市）

坂之上 久之（鹿児島銀行）

Asia Pacific Association for Academic and Industrial Cooperation
 Chen-en Ko

下記に示すフォーラムの参加者は、薩摩川内宣言を支援する。
 The participants of the forum listed below support the Declaration of Satsumasendai

2023年11月17日
 November 17, 2023

鹿児島県 知事
 Kagoshima Prefecture Governor

塩田 康一

九州経済フォーラム 会長
 Kyushu economic forum Chairman

石原 進

Sozo Ventures シニアマネージングディレクター
 Sozo Ventures Senior Managing Director

中村 幸一郎

AIRI Capital, LLC マネージングパートナー
 AIRI Capital, LLC Managing Partner

PAVAN ONGOLE

福岡県中小企業経営者協会連合会 会長
 Fukuoka Federation of Business Executives Chairman

小林 専司

※福岡県中小企業経営者協会連合会 小林会長は
 当日は都合により不在であったため、後日ご署名をいただきました。

(2) 薩摩川内宣言の状況



8. 展示商談ブース

(1) 開催概要

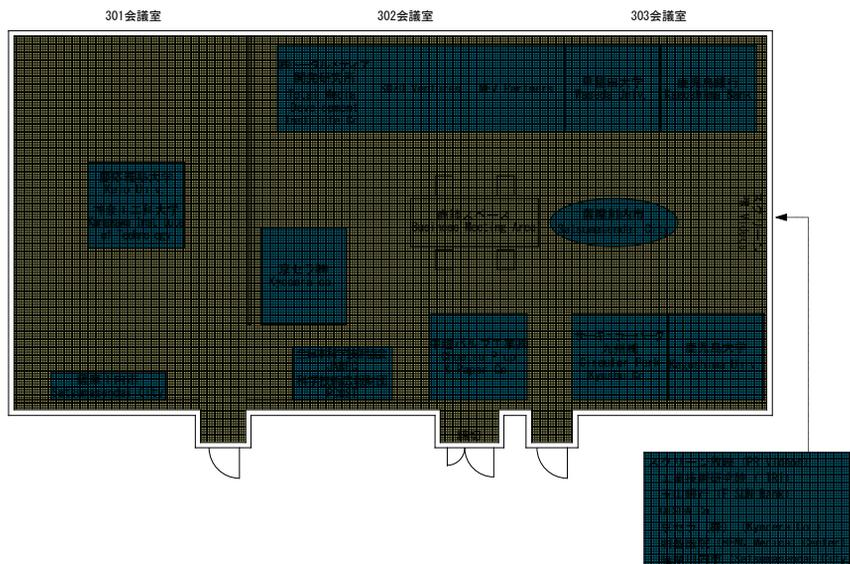
ア 開催日:令和5年11月16日(木)～17日(金) 午前9時～午後5時

イ 開催場所:SSプラザせんだい 301・302・303 会議室

ウ 出展者:全18者(ブース出展 14者、PR動画放映 6者 重複あり)

エ 出展内容:企業製品、研究成果ポスター、企業技術PRポスター・スタンドバナー等

(2) 会場レイアウト



(3) 出展者

No	出展者	
1	明基医院	BENQ Medical Center
2	中越パルプ工業(株)	Chuetsu Pulp & Paper Co.
3	サーキュラーパーク九州(株)	Circular Park Kyushu Co.
4	玉山銀行	E.SUN Commercial Bank
5	工業技術研究院(ITRI)	Industrial Technology Research Institute
6	(公財) 科学技術広報財団	The Japan Foundation of Public Communication on Science and Technology
7	(公財) 全日本科学技術協会	Japan Research Community for Science and Technology
8	鹿児島銀行	Kagoshima Bank
9	鹿児島大学	Kagoshima Univ.
10	神奈川工科大学	Kanagawa Institute of Technology
11	慶応義塾大学	Keio Univ.
12	京セラ(株)	Kyocera Co.
13	MFV Partners, AIRI Capital	MFV Partners, AIRI Capital
14	QISDA Co.	QISDA Co.
15	薩摩川内市	Satsumasendai City
16	SOZO Ventures	SOZO Ventures
17	(株) トータルメディア開発研究所	Total Media Development Institute Co.
18	早稲田大学	Waseda Univ.

(4) 展示商談ブース会場の状況



9. 参考: 共催団体のご紹介

(1) 九州経済フォーラム

九州経済フォーラムは、九州沖縄地域の広域連携の推進、九州の21世紀型産業経済の育成などをコンセプトに活動している福岡市を拠点とする経済団体である。会長は、JR九州特別顧問の石原進氏が務める。

(2) Asia-Pacific Association for Academic and Industrial Cooperation (APAAIC)

APAAIC(アジア太平洋学術産業連携協会)は、国立台湾大学 Chen-en Ko名誉教授を中心に、一群の学者、企業家、専門家が中心となって設立された団体。2017年7月1日、非営利社団法人として正式に政府の承認を受けた。台湾とアジア太平洋地域各国との学術・産業の交流と協力を促進することを使命とし、交流訪問やセミナーを通じて、各国の企業や学術団体との交流、経験を共有し、会員が各国の学術・産業間において協力できる機会を拡大することで友情を深めるとともに、産学共同シナジーを創出することを目的としている。理事長をつとめる Chen-en Ko名誉教授は、昨年10月に初めて本市を訪問され、田中市長と面談した。

(3) Industrial Technology Investment Corporation (ITIC)

創新工業技術移転股份有限公司 (ITIC: Industrial Technology Investment Corporation) は台湾のベンチャーキャピタル。工業技術研究院(ITRI)の100%出資子会社として1979年11月に設立された。業界のリーダーを育成するため、世界中で4億米ドルを投資してきた。スタートアップ企業やパートナーに対して、深い専門知識と幅広いリソースを提供している。本フォーラムには、投資マネージャーであるJoyce Cheng氏が参加された。

10. 参考:協賛者のご紹介

(1) APAMAN 株式会社

本社所在地：東京都千代田区、代表者：大村浩次（代表取締役社長）

1999年“ITを活用して不動産業界の質的向上に貢献したい”という思いから設立。WEBやクラウド等のテクノロジーを提供する企業として創業。現在は事業領域を拡大し、「Platform」、「Technology」の事業を展開。「Platform」に関しては、日本一の賃貸斡旋店舗数、日本最大級の賃貸管理戸数によって、入居者・不動産所有者など巨大なプラットフォームを形成。「Technology」に関しては、政府の日本再興戦略2016（未来投資戦略2017）、第四次産業革命の趣旨に賛同し、IoT・ビッグデータ・人工知能活用のための技術開発を強化。全てのモノがインターネットに繋がるIoTを、スマートハウスとして賃貸住宅の隅々に設置し、蓄積されるデータを分析することで、今まで想像も出来なかったサービスを実現している。また、CSRとして、国家の最重要課題である”少子化対策”にも取り組んでおり、創業したNPO法人JUNOALLを全国12か所に展開。今後年間1万人の成婚を目指している。

(2) Sozo Ventures

本社所在地：アメリカ カリフォルニア州、
代表者：Phil Whickham / 中村 幸一郎（シニア・マネージング・ディレクター）

Sozo Venturesは、2012年に設立され、技術を活用したベンチャー企業とその国際展開を支援することを目的とした投資ファーム。Twitter や、zoomへも投資し、日本進出を手掛けた。データ技術、電子商取引、エンタープライズクラウド、フィンテック（金融技術）、IoT（Internet of Things）、ヘルスケアIT、その他の先進的なソリューションを通じて変革を目指すリーダー企業に投資している。シードステージの企業から株式公開（IPO）準備中の企業まで、さまざまな段階の企業と積極的に関わっており、ポートフォリオ企業がグローバル市場で成功するためのリソースや専門知識の支援を行っている。

(3) AIRI Capital, LLC

本社所在地：アメリカ カリフォルニア州、代表者：Pavan Ongole

シリコンバレーに本社を置くベンチャーキャピタル。2015年に設立された。

(4) 医療法人社団 やまと

所在地：宮城県登米市、代表者：田上 佑輔（理事長）

2011年の東日本大震災をきっかけに結成された医療支援チームをベースとして、2013年4月に宮城県登米市と東京都板橋区高島平の2カ所で、それぞれ在宅医療を中心に行う診療所を開設。2014年12月に2つの診療所がそれぞれ法人化し、やまと在宅診療所 登米は「医療法人社団やまと」として事業を開始。現在は在宅診療を主体とする診療所（宮城県登米市、宮城県大崎市、宮城県栗原市、岩手県一関市、宮城県仙台市、宮城県名取市、神奈川県川崎市、神奈川県横浜市）の9カ所を中心に、訪問看護ステーション、栄養ケアステーションも運営している。

(5) iMU 株式会社

本社所在地：東京都中央区、代表者：名倉 武雄（代表取締役）

慶應義塾大学医学部発のヘルスケア・スタートアップ企業。同学部整形外科バイオメカニクス研究室の研究成果を活かし、5mほど歩くだけで、簡易・迅速・安価に、膝への負担を可視化するヘルスケアデバイスの研究開発を行っている。膝の負担の見える化技術を活かし、変形性膝関節症の進行リスク予測や、リハビリ・日常生活における膝保存のためのアドバイスの提供を目指している。

(6) 山根 大氏

慶應義塾大学SFCを卒業後、学生時代に過ごしたアメリカのスタンフォード大学の記憶が忘れらず、2012年にシリコンバレーに会社を設立し、移住。海外でエンジェル投資をスタート。その後、日本にてユニコンプロジェクトであるRPAホールディングスの上場プロジェクトに参画後、X Capitalを設立。スタートアップのハンズオン支援の傍ら、国内外のVCへのLP投資、アーリーステージのベンチャーに投資を行っている。主な投資分野はDeep Tech、Health tech、Enterprise Software、Vehicle Techなど。